

第1回 さぬき市温泉施設等検討委員会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成22年7月21日（水） 13:30～15:40
- 2 場 所 市役所本庁3階301会議室
- 3 出席者 [委員] 犬飼 堀井 安西 筑後 山下 矢木 平野
頼富 井下 藤井 江崎 谷 野崎
[(財)かがわ産業支援財団] 2名
[事務局] 大山市長 渡邊副市長（施設管理公社理事長）
吉原部長 六車課長 浅川副主幹 徳竹
- 4 議 題 会長、副会長の選任について
会議の公開又は非公開の決定について
委員会の所掌事項について
調査業務（経営診断）の概要について
今後のスケジュールについて
その他
- 5 会議の内容は次のとおりである。
 - (1) 決定したこと
平成22年7月21日から終了日までを任期とする委嘱状を委員13名に交付した。
正副会長を次のとおり選任した。
会長 犬飼 知徳
副会長 谷 幸夫
会議は原則として公開する。
次回
施設見学は 8月3日（火）午後1時に集合
会議は 9月3日（金）午後1時30分開会を予定する。
 - (2) 市長あいさつ（要約しています）
平成14年4月に当時の5つの町が1つに合併し、さぬき市になり、満8年が過ぎました。当時それぞれの町が、隣の町が持っているものと同じものは一通り持ちたいと、各町に温泉施設ができたかと思います。
それから時間が経ち、建物も少しずつ老朽化してまいりました。また、社会情勢も、住民の皆さんの意識も変化しています。
今回の委員会でご意見をお伺いするのは、いろんな方のご意見を最大公約数でいただきたい。また、私ども市議会の議員さんにも皆様方のご意見を途中でいろんな形でお知らせをし、また議会の意見を委員会の中で皆さんにお知らせをする。そういう形で今回の委員会では議論を深めていただければありがたいと思っています。
また、今日は産業支援財団さんの方から報告いただけるということで、在席していますが、私は今後出席いたしませんので、皆さん遠慮なさらず発言していただきたい。

今後、できるだけ早い段階で、一定の方向を出したいと思います。各委員の皆様におかれましては、趣旨を理解していただき、ご協力をいただければ、ありがたいと思っています。よろしくお願い申し上げます

(3) 市から説明した内容

各施設の委託先である財団法人さぬき市施設管理公社について
各施設経過について

各施設の設立後の経緯を説明

さぬき市施設管理公社設立後7年間の決算状況の内、注目すべき点は、損失補填金である。この7年間で合計147,000千円をさぬき市から施設管理公社へ補助している。

クラタラソ津田については、経営主体も異なることから、別な角度で改めて検討する必要がある、当会議の検討対象外ということでお考えいただきたい。当委員会では、施設管理公社が経営運営をしている施設に限って検討していく方針。

カメリア温泉は現在施設管理公社の組織図の下にあるが、赤字が出た場合も管理公社の補填は行われていない。

カメリア温泉、クアタラソの今後の在り方についても、今回の議論を踏まえて、市としても特別扱いするのではなく、同じような基準でやっていく予定。

来年3月の委託契約満了に向けて今、新たな管理者を模索しているところである。

市の方としても、地元密着型、民間企業への委託、もしくは今の施設管理公社に残すという、いろんな方向性で探っている状況である。

かがわ産業支援財団の診断報告書が提供される秋ごろを目途に、概ね月1回、トータル4回くらい当委員会を開催した上で、提言書をまとめ上げていく必要がある。秋までに月1回程度の参集をお願いしたい。施設の見学についても次の会で予定している。できるだけ早い時点で、委員の皆様にも全施設をご覧になっていただきたい。

次回第2回会議の内容等については、犬飼会長と相談の上、決めさせていきたい。

(4) (財)かがわ産業支援財団「予備調査結果」の内容

ツインパルながお、大串温泉、春日温泉、ゆ〜とぴあみろくの4施設について既に予備調査を終え、現在は診断日程の7回目のインタビュー分析を終えた。8月23日午後より、さぬき市長に対して診断結果の報告をする予定。

解決すべき主な問題点(課題)

施設の縦割り管理。 原価意識の欠如。 施設の老朽化。 脆弱な集客活動。 硬直的な人事政策。 旧態依然の組織体制。

各施設の現状について

他施設見学等の実施について

予備調査から本診断に入る際必要な最低限の資料リストについて

9つの部門について、経営と管理運営の実態調査を行った。

各部門の資料をさぬき市建設経済部とさぬき市施設管理公社より提供を受け、全て精読し分析中である。

まとめ

先に挙げた問題点（課題）は、実は内部的な問題点ばかりであり、さぬき市長と関係者が本気になればやれるものばかりである。本日ご参加いただいた委員の方をはじめ、さぬき市民の方々の絶大な支援とご協力が必要不可欠である。

（５）委員の主な意見

カメリア温泉は、株式会社が運営しているので、公社のリストから削除すべきではないか。赤字が出た場合管理公社が補填しているのか。どうしてここまで大変なことが起きているのに、今まで管理してきた公社も、市も、市民に公表しなかったのか。

テレビで一度宣伝してみてもどうか。ケーブルTVを使って温泉のイベント等をどうして流さないのか？

ツインパルながおの温泉に行くと、いつも一杯である。なぜそれで赤字なのか？

損益分岐点が問題。温泉施設は燃料費、人件費等の固定費が非常に高いので、稼働率というよりは、いったい一日何人入れれば赤字にならないのか、という議論をしなければならない。

基本的には福祉の側面が比較的強い施設であり、ただ赤字だからいけない。というのは非常に短絡的な考え。実態として経営状況がどのあたりで、何を改善すべきか、という問題として理解するべき。

企業に委託するののも一つの手段ではないか。

民間に委託するとなれば、こちら側もちゃんと利益が出そうな対比性のある提案ができるかどうか問題。